とんぼりニュース

2018年 12月号
Vol.158
2018年 11月28日 発行

道頓堀商店会報
http://www.dotonbori.or.jp
道頓堀商店会事務局
〒542-0071大阪市中央区道頓堀1-7-21中座くいだおれビルB1
TEL.06-6211-4542　FAX.06-6211-9764
発行人：上山 勝也

祝 2025年万博 大阪に決定!!

11月24日(土)午前1時ごろ、パリで開かれたBIE(博覧会国際事務局)総会にて、2025年万博を大阪で開催することが決定されました。

道頓堀のとんぼりステーション前では、Youtubeで決定の瞬間の映像が流れるや否や、大きなどよめきが起こりました。その後、「かに道楽」前に移動、いっこミナミ実行委員会の代表による「くす玉」割り、上山勝也会長の発声で「万歳三唱」がされ、集まった人々の大歓声の中みんなで大阪万博決定をお祝いしました。マスコミ関係者も20社を超え、道頓堀の祝賀イベントの模様が全国ニュースで伝えられました。

道頓堀をはじめミナミの商店街は、どこよりも積極的に大阪万博の応援をしてきましたが、今後も2025年の大阪万博開催に向けての活動を精力的に展開していきたいと思います。皆様のご支援、ご協力をよろしくお願いします。

講談を聴いて、オーナー部会。

今年2回目の「オーナー部会」が、11月6日に29名が参加して「道頓堀今井」で行われました。講談師の旭堂南照さんが「戎橋物語」、師匠の旭堂南陵さんが「五代友厚道頓堀事件」を語り、道頓堀とも関係の深い物語に参加者は熱心に耳を傾けていました。その後、「今井」名物の「うどん寄せ鍋」を皆で囲み、旧交を温め、親睦を深めと、懇親の輪が広がりました。この会ではおなじみの、一言メッセージのコーナーでは、近況報告や営業アピールもあって、終始和やかに宴会が進みました。

店長会「親睦ボウリング大会」を開催。

11月15日(木)に店長さんをはじめ、20名の会員さんがドラゴンボウルに集合、3時スタートで、親睦ボウリング大会が始まりました。5チームに分かれ、個人賞とチーム賞を競いました。熱戦の末、個人優勝は、アサヒビールの奥村恵奈さん、チーム優勝は「お好み焼きチーム」。全員に参加賞もあり、商店会の各店舗からいろいろな賞品を提供いただきました。次回は、来年2～3月、何か活動を提案できるような店長会にしたい、という意見も……。多くの店長さんの参加をお待ちしています。

2019年6月28・29日、G20大阪サミット開催!!

道頓堀 presents フードミュージカル ゴッタ

とんぼりニュースをご覧の皆さま、こんにちは！GOTTA串カツ男爵役、タップダンサーの細川慶太良です。

7年間NYで活動し、いくつもブロードウェイやオフブロードウェイのステージを観たり、出演してきました。が、それに負けず劣らずの作品が「道頓堀フードミュージカルGOTTA」です！

生のタップダンスが目の前で見れる、体感できる！三味線や太鼓の生演奏がすぐそこで味わえる。もちろん歌舞伎やレビュー、270度のプロジェクションマッピングも見逃せません。

そんな大迫力の観客参加型のゴッタ煮エンタテイメントをこご道頓堀にて是非!!

12月には、通常のお昼公演に加えて、12月1日～25日の毎晩19時にクリスマスバージョンが催されます。（4・11・18は休演）

毎晩豪華なゲストが日替りで登場するのでお見逃しなく！

12・1月の興行ご案内……

大阪松竹座 寿初春大歌舞伎

・昼の部
一、玩辞楼十二曲の内 土屋主税（つちやちから）
二、寿栄藤末廣（さかえことほぐふじのすえひろ）
三、玩辞楼十二曲の内 河庄（かわしょう）
出演：坂田藤十郎 中村鴈治郎 中村扇雀 片岡愛之助 中村壱太郎 他
・夜の部
通し狂言 金門五三桐（きんもんごさんのきり）
出演：中村鴈治郎 中村扇雀 片岡愛之助 中村壱太郎 他
日時：1月2日(水)～26日(土)
午前の部 11時～
午後の部 4時～
料金：一等席17000円
二等席 9000円
三等席 6000円

法善寺寄席

12月18日(火) 15時～【1部】彩り演芸席～師走の席～
出演：若井りきゆうき(漫才) 桂ぼんぼ娘(落語)
千田やすし(腹話術) 地獄の遺伝子(漫才)
料金：前売2000円 当日2500円
19時～【二部】地獄の遺伝子歳末謝恩会～野性の証明～
出演：地獄の遺伝子 ひこーき雲 ミスターおおさかかいし
料金：前売2000円 当日2500円
お問合せ：関西演芸協会
06-6622-7848
（留守番電話にお入れください）

道頓堀ZAZA 道頓堀 歌謡onステージ

12月25日(火) 12時15分～
出演：林健一 愛ゆう子 成田洋介 小栗栖ゆかり
あずみ万里子 山口真一 北川紀恵 神南昌一
料金：前売2000円 当日2500円
お問合せ：道頓堀ZAZA
06-6212-3005

道頓堀SUPER歌謡劇場 ～心に響く!!昭和の流行歌～

12月18日(火)13時～・16時30分～
（各公演で1部歌唱内容が変わる場合があります）
出演：中村泰士(プロデュース)
辰巳ゆうと 竹村こずえ 生駒尚子
オール巨人(よしもとクリエイティブエージェンシー)
料金：2500円
お問合せ：090-1588-6590
（道頓堀SUPER歌謡劇場実行委員会）

歳末恒例 道頓堀「夜回り」に参加しよう！

12月13日(木)～15日(土)に、道頓堀商店連盟と協力して、「火の用心」とともに悪質な客引き、自転車乗り入れ、路上駐輪などの禁止を呼びかける特別警戒「夜回り」を実施します。今年の最後を締めくくる商店会活動で、年の暮れの最後まで事故のないよう、また新年も安全・安心の街でありますよう、願いを込めてパトロールをしたいと思います。商店会会員の皆さんもふるってご参加ください。

各日、午後7時、道頓堀商店街西入り口、「はり重」前に集合してください。温かい服装でお越しください。

問合せ：事務局06-6211-4542

2018年 12月の行事予定

1(土) 福娘発表会
12時～ 国際会議ホール
13(木) 防犯防災警戒夜回り
19時～ はり重前
14(金) 四商店会合同パトロール(予定)
17時～ 戎橋交番前
12月度定例役員会
17時30分～ 事務局
防犯防災警戒夜回り
19時～ はり重前
15(土) 防犯防災警戒夜回り
19時～ はり重前
18(火) とんぼりリバーウォーク賑わい創出連絡会
10時～ スポタカ
ミナミまち育てネットワーク 街づくり委員会
10時30分～ まち育て事務局
23(日) 四商店街代表者会議
17時～

道頓堀 街づくり情報

まいどおおきに！大阪ミナミ「光マッセ！」始まってマッセ！

冬のミナミの夜を彩るイルミネーション。
あちこち巡ってもらって、なんばエリアへの消費を促進しようとするもの。
今年もインスタグラムを使ってフォトコンテストを開催中。
優勝者には2万円の旅行券、その他、ミナミの商店街やお店が提供する豪華プレゼントを用意しています。
イルミの写真を撮りながらブラブラ、ミナミの楽しみ方が一つ増えました。

心斎橋 BIG STEP

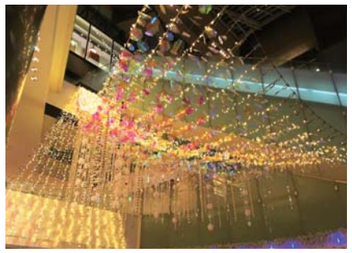
全長10mのトナカイが今年も登場。昨年からパワーアップしたプロジェクションマッピングのショーも必見です。
アトリウムが階段状で遮るものが少ないので迫力ある写真が期待できます。

なんば スカイオ

新顔スカイオはエスカレーターのイルミネーションが迎えてくれる。植物の緑と合わせてシックな大人の空間です。

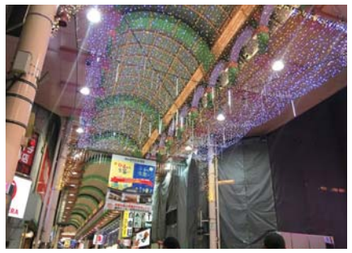
なんば CITY 髙島屋前

ガレリアコート



ガレリアコートの吹き抜けに光のオブジェが登場。ゴールドにきらめくパステルカラーは上品な華やかさ。いつまでも見上げたくなる空間。

難波センター街



星が降り注ぐようなシャンパンゴールドの空が難波センター街に登場。立ち止まって、都会の星空をしばし楽しんでみては?

フォト・コンテストの応募方法は

①インスタグラムの光マッセ!公式アカウントをフォロー
（@hikarimasse2018）
② インスタグラム上でお気に入りの写真を「#光マッセ2018」をつけて投稿!
締め切りは、12月27日(木)まで。
お気軽にご参加下さい!

なんば パークス

光の滝

9階から2階までを覆う大きな光の滝が登場。その大きさには圧倒されます。また光のオブジェは色を変え、目を楽しませてくれます。パークスの個性的な建築を活かして素敵な1枚をどうぞ。

戎橋筋商店街

縁起物イルミネーション

十日戎の沿道に当たる戎橋ではえべっさんをはじめ、打出の小槌や鯛など縁起物がアーケードを彩ります。試験を控えた方は「合格」の絵馬と撮ってみては?

とんぼりリバーウォーク

水と光のワンダーランド

可愛らしいタコのキャラクターや、川の両サイドを飾るイルミネーション。普段から光溢れる道頓堀と違って、大黒橋付近でもイルミネーション。インスタ映えする「フォトスポット」の前で記念撮影をどうぞ。

道頓堀商店会報 2018年12月号(2018 11.28 No.158)

時の人・インタビュー

師匠・桂吉朝と大師匠・桂米朝。二人の師匠から受けついだ大きな遺産を大切にしたい。

細身のスタイルに愛らしいルックス。なのに驚くほど上手い！とデビュー当時から注目を集めてきた吉坊さん。「師匠方にはさすがに老けてきたなあって言われますよ。15歳から楽屋に出入りしていますからね」というものの、師匠のことを「大好き！」と話す顔は少年のよう。伝統芸能に造詣が深く、道頓堀川面舞台でも司会を務められた桂吉坊さんにお話を伺いました。（聞き手：中田真弥子）

プロフィール

桂吉坊（かつら・きちぼう）

1981年兵庫県西宮市生まれ。
東住吉高校芸能科卒業。
1999年桂吉朝に入門。
2011年、大阪市「咲くやこの花賞」大衆芸能部門受賞。
日本舞踊を山村流で習い、滑稽味のある「チャリ舞」などを踊ることも。
道頓堀界隈で一番よく行く店は洋酒の「路」。

――落語に惹かれたきっかけはなんだったのでしょう?

ラジオで聞いた落語がきっかけで、中学の時に吉朝師匠に弟子入りを願い出たんです。高校は出なさい、ということで、東住吉高校の芸能科に進みました。その間は見習いのような立場で楽屋に出入りさせてもらって、稽古をつけて頂いたり。高校在学中の一九九九年一月十日に入門しました。

ちょうと変わった形ですが、吉朝の弟子は大師匠である米朝師匠のところに住み込みの内弟子に行くんです。

同じ家で暮らしてみると、米朝師匠も普通の人なんや！と。自分をさらけ出して生活をしてはるんです。実は米朝師匠はめちゃくちゃイラチで方向音痴、それにとんでもなく天邪鬼。そんなイメージないでしょう?

▶米朝師匠の着付けを手伝う吉坊さん。

――吉朝師匠の魅力とは?

とにかく上手くて面白かった。きちんとできるとわかっていて、ハズすんです。古典なのに今の言葉を入れてみたり、わざと突っ込まないことで笑いが起こる。「ここまでは言っても大丈夫」のギリギリを攻めるのが好きでした。そして、ちゃんと元の世界に帰ってくる。あれは中々できないですね。

▶桂吉朝師匠。端正な落語で人気を博した。2005年逝去。

弟子だけが「うちの師匠」と呼べます。僕にとっては桂吉朝です。それなのになんで米朝師匠の内弟子に来てるんだろう、と思う時期がやっぱりあったんですよ。

うちの師匠は稽古でなくても米朝師匠の家に来て世間話をするということがよくありました。その時でも「うちの師匠」の顔じゃないんです。完全に「米朝の弟子」なんです。その時、うちの師匠も自分の師匠のことがこんなに好きなのだ、と気付きました。

一番好きな人の一番好きな人、が喜んでくれるのは嬉しい。その時だけのことではなくて、他の誰かにも嬉しいということが繋がっているのだと。あの時気付かなかったら、辞めてしまっていたかもしれません。

2005年にうちの師匠が亡くなりました。どの「門」でも師匠と弟子にしかない独特の会話があるんです。そういう時間はもう僕らにはないんやな、と思うと寂しい気はしますね。しょうがないですけれど……。

▲米朝師匠と。吉朝師匠との2ショットは撮れないままだったという。

ただ、それによって弟子は確実にしっかりしました。師匠が生きていたら……、みんな師匠が大好きなので、良い弟子であろうとはしたでしょうが、師匠に頼り切っていたりして……、今とは違っていたでしょうね。

――落語の他にも伝統芸能に造詣が深く、司会などでも人気ですね。

うちの師匠はお母さんが藤間流のお師匠さんで、踊りはもちろん、三味線も高校からやって、鼓に太鼓に笛にと、一人五人囃子というほどでした。

『蛸芝居』『七段目』などの芝居噺と言われるものは楽器を使うので、僕らは必死で稽古をしないといけない。だから一門会でやるとめちゃくちゃ楽(笑)。打ち合わせなくても気心が合っていて、「こうしてほしいんやな」とわかるんです。

米朝師匠も吉朝師匠も他の伝統芸能の師匠方と楽屋で芸の話をしていましたし、僕も師匠たちの会話に入りたいと思っていました。こうやって伝統芸能の仕事に関わっていられるのは、その二人の弟子だからという信頼が大きいですね。それは二人から譲ってもらった大きな財産だと思います。

――これからの道頓堀についてはどうお考えですか?

街は全部が明るくなくてもいいと思っています。浮世小路なんてふっと喧騒から離れられる隙間みたいで、いいですよね。

これだけ賑やかなのだから、三味線が聞こえてくるようなところがあればいいなと思います。時代の多様性はあるのでしょうが、道頓堀の老舗には底力がありますし、大人の街であってほしいですね。

それに伝統的な行事も残して欲しいですし、私も十日戎の日に入門しましたので、宝恵駕行列などの行事に、これからも関わりたいですね。

昔はトリイホールなどで米朝の会があると、帰りに今井さんや時には南地大和屋さんへ連れて行っていただきました。イラチな米朝師匠の歩くスピードの速いこと。僕ら弟子は荷物を持って付いていくのが大変でした(笑)。

◆トリイホール 上方文化講座『上方舞』の会にゲスト出演予定

日時：12月9日(日)15時～
出演：山村友五郎　花柳寿楽　桂吉坊